

## 「農林業の知と技の拠点」の整備について

令和3年3月  
山口県農林水産部

### 1 現在までの進捗状況

- ・新本館等の実施設計は完了し、屋外研究・研修施設の建設工事に着手
- ・新本館建築工事の入札手続き中  
(予定価格5億円を超えるため、6月議会の議決を経て着手)
- ・敷地内道路拡幅や、不要建物の解体、駐車場整備、ほ場整備等は順調に進捗

### 2 令和3年度以降の整備スケジュール(予定)

R3年度	R4年度	R5年度
※新本館建築は議会議決を要する ★	新本館 建設 連携・交流館 建設	竣工 供用開始
屋外研究・研修施設等 建設		

※「やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター」機能を移転

### (参考) 建築イメージ



※図は令和3年3月時点のものであり  
今後変更される場合があります。

※整備事業費 約57億円 (移転する施設の解体撤去費は除く)

## 農業大学の学科・カリキュラムの再編について

令和5年4月予定の「農林業の知と技の拠点」オープンに合わせ、農業大学の学科再編・カリキュラムを再編し、地域の中核経営体等から求められる「即戦力人材」の育成に向け、学修内容を充実・強化します。

### ○土地利用学科（仮称）の新設

- 本県農業を支える集落営農法人等のニーズを踏まえ、水田における複合経営を主体とする法人で即戦力として活躍できる就業者を育成するため、土地利用型作物（水稻・麦・大豆）や露地野菜等の生産技術や、法人経営に必要な経営・販売等に関するスキルを学ぶ「土地利用学科（仮称）」を新設



学科	予定定員	学修内容
<b>新</b> 土地利用学科（仮称）	10人程度	水稻・麦・大豆・露地野菜等 法人経営の実践学修
園芸学科	20人程度	施設野菜経営、花き経営、果樹経営の実践学修
畜産学科	10人程度	酪農経営、肉用牛経営の実践学修

### ○飛躍的な生産性向上等を実現するスマート農業学修の強化

- スマート農業機械の操作実習、低コストなハウス環境制御技術、ICTや受精卵移植等を活用したスマート畜産技術など、今後の農業をリードする先端技術学修を強化

### ○「農大生の会社」（仮称）による法人経営学修の充実

- 「農大生の会社」（仮称）を新たに設立し、6次産業化による農大ブランド商品の開発や販売実習等、生産物の付加価値向上や多角的経営の実践を通じ、法人経営に必要な能力やビジネス感覚を身に付ける学修を充実

### ○就業先の実情を踏まえた林業学修の導入

- 中山間地域が多い本県では、農業と林業が密接に関連しているため、農業・林業の連携に必要なスキル（安全なチェーンソーの取り扱い、植林・育林等の技術）学修の導入により、中山間地域で活躍できる人材を育成

※令和3年度中に関連条例等を改正し、令和5年度の新入生から新たな学科・カリキュラムによる学修を開始する予定です。（改正の内容は変更になる場合があります。）

## 「農林業の知と技の拠点」外部作業舎の整備について

令和3年3月  
山口県農林水産部

県では、山口市の農業試験場と林業指導センターを防府市牟礼の農業大学校に移転・統合し、即戦力人材の育成と先端技術の開発に一体的に取り組む「農林業の知と技の拠点」を形成する。(令和5年4月供用開始予定)

一方、農業試験場が水稻・大豆・麦等の研究を実施するには農業大学校敷地外に水田を求める必要があったため、土質や水利等を総合的に勘案し、防府市大道上り熊地区において、約5haの研究用水田（「外部ほ場」）を県が賃借することとした。(令和4年度以降借受予定)

外部ほ場の位置が決定したことにより、その近隣に農業試験場の調査場、倉庫、機械格納庫等を備えた屋外研究施設（「外部作業舎」）を整備し、今後の本県農業振興に必要な研究等を行う。



参考：計画地周辺図